

「箕面の森自然観察会」観察の眼

2018年4月13日

1班：齊藤ちづみ

*箕面駅前～商店街～聖天橋～西江寺裏～聖天展望台



フジ (マメ科) ツル性木本。
植栽された藤棚の花。



レッドロビン (バラ科) 栽培種。
カナメモチとオオカナメモチの交雑種。



ケヤキ (ニレ科) 一斉開葉する。
小さい葉の短枝が展葉し果実を付け、後に長枝が展開する



アオギリ (アオイ科) 大型の葉。
原爆で残った平和のシンボルツリー。



シャガ (アヤメ科) 3倍体で結実しない。
内花被片3個、外花被片3個。



群生する。



ビワ (バラ科) 晩秋に開花したが
小さな果実が見える。



アリドオシ (アカネ科) 一両
鋭い棘と先端に残る萼。白い花は？



ハハコグサ (キク科) おぎょう
全体に綿毛多い。



イロハモミジ (ムクロジ科)
両性花と雄花の雌雄同株。



結実したばかりの果実に小さな翼。



キラソウ (シソ科) 茎が匍匐し広がる。
全体に毛。葉腋に唇形花を付ける。



ニワトコ (レンプクソウ科) 展開が早く果実付く。赤く熟すのは5~6月。



ハウチワカエデ (ムクロジ科) 雄花の黄色い葯が見える。



柱頭と翼が見える。果実はイロハモミジと比べると大きい。



ハナズオウ (マメ科) 単葉。幹、枝から直接花を付ける。



クサイチゴ (バラ科) 三出複葉の枝に花が付く事が多い。



リョウブ (リョウブ科) 新葉が枝先に集まって付く。昨年の果実が残る。



雄花序



モチツツジ (ツツジ科) 花糸の下半分に腺毛ある。花柱にはなく子房は腺毛が密生。



腺毛は害虫を寄せ付けない為。虫が付いているのが見える。



アラカシ (ブナ科) 新葉の下部に雄花序が垂れ下がる。



雌花



雌花は新葉の上部の葉腋に付く。

* 聖天展望台～箕面山荘



スノキ (ツツジ科) 萼筒に稜はない
葉柄はほとんど無い。



サルトリイバラ (サルトリイバラ科)
雌雄異株。刺と巻きひげで木に絡む。



カゴノキ (クスノキ科)
昨年の果実は1年かけて今年の秋
赤く熟す。



ドライブウェイカーブのカスミザクラ



箕面山荘のカスミザクラと緑葉のヤマザクラ



イヌエンジュ (マメ科) 芽吹き初め
全体に光沢のある軟毛が密生。



コバノガマズミ (レンプクソウ科)
葉の両面に星状毛があり托葉のある葉が多い。



花序の展開。苞の後、托葉。



カスミザクラ (バラ科) ケヤマザクラ
花序の柄と花柄にふつう開出毛ある。



マルバアオダモ (モクセイ科)
対生の奇数羽状複葉。雌雄異株。



両性花で雌しべが1個と雄しべ2個
柱頭は赤み帯び子房は黒っぽい。

*箕面山荘～オケ原林道～オケ原池



アケビ (アケビ科) ツル性木本
先端に雄花が数個、基部側に雌花
1～2個、柱頭は粘液を分泌。



アカシデ (カバノキ科) 新葉の展開
葉のふちは不揃の細かい重鋸歯。
淡紅色は鱗片葉と托葉。



イヌシデ (カバノキ科)
葉表全体に伏毛。葉柄に毛密生。



アカカタバミ (カタバミ科)
全体に赤みを帯びる。茎は分枝し
下部は匍匐、上部は立ち上がる。



ムクノキ (アサ科) 葉の両面に
短毛がありざらつく。雄花は新枝
の下部に付く。



ニガイチゴ (バラ科) 葉裏は粉白色
茎は無毛、ロウ質の粉が付きトゲ多い
花弁細く、花弁のあいだ隙間ある。



ウラシマソウ (サトイモ科)
花序の付属体が仏炎苞から伸びる。



ヒメヤシャブシ (カバノキ科)
雌花序。



クロモジ (クスノキ科) 雌雄異株。
花柄に毛ある。雄花、雌花共に花被片
で雌花の方が小さい。



ウリハダカエデ (ムクロジ科)
3裂片が目立つが5角形状の葉。



くると輪になったユニークな
付属体は芽鱗 (鱗片葉)



フジ (マメ科) 展開前の花芽
商店街では藤棚で咲く。



イヌザクラ (バラ科)
 ウワミズザクラに比べ花穂は小型。
 前年枝の節から総状花序を出す。



ウワミズザクラ (バラ科)
 新枝の先に総状花序を出し花を付ける。
 花序の下部に葉が3~5個付く。



花序に花が密集する。
 長く突き出ているのはオシベ。



ダンコウバイ (クスノキ科)
 雌雄異株。葉の展開前に開花。
 小さい花が散形状に付く。



カマツカ (バラ科) ウシコロシ
 短枝の先に散房花序。

*オヶ原池~地獄谷~瀧安寺



ヤマボウシ (ミズキ科)
 弧を描くような側脈が特徴。
 小さな花芽。



ハクサンハタザオ (アブラナ科)
 全体に毛あり茎は直立、花後に倒れ
 葉腋より萌芽し栄養繁殖。



ニシノオオタネツケバナ (アブラナ科)
 オオタネツケバナの変種。西日本に多い
 頂小葉は浅裂する。



ヤブニンジン (セリ科)
 葉は2回3出複葉。花は小さい5弁花



ミヤマハコベ (ナデシコ科) 群生する。花弁5個が基部近くまで2裂。



＊瀧安寺境内～箕面駅



総苞葉とその下に
付く花芽が見える

ボダイジュ（アオイ科）展開し始めた葉の中に総苞葉と花芽。
灰白色の星状毛で覆われる。



ゲッケイジュ（クスノキ科）ローリエ
雄花が咲く。花被片は4個、葯は2室。
雌雄異株。



ブルーベリー（ツツジ科）
栽培種が多く、無農薬で育て易い。



オオモミジ（ムクロジ科）
両性花が咲く。



オオスズメバチの女王蜂
(田中さん写真提供、他にも数点
提供して頂きました)



トウモクレン（モクレン科）
外花被片3個と内花被片6個。
モクレンの変種で小型。



レンギョウ（モクセイ科）
葉は三出複葉もある。髓は中空。